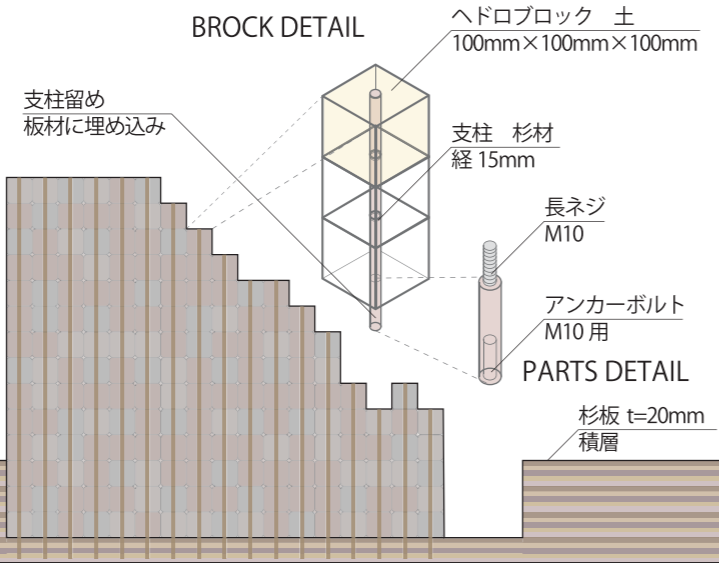
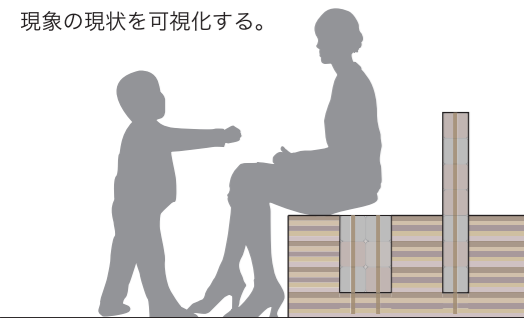


005_PLANNING

「HEAT ISLAND SCALE」の高さは、エリアごとのヒートアイランドの熱レベルを示している。緑地・海といったヒートアイランドを緩和するエリアをGL+100とし、最も深刻なエリアではGL+1500の柱が立ち上がる。このようにしてヒートアイランド現象の現状を可視化する。



006_MESSAGE

見る

エコノベルティとして、まちへ広がるヘドロブロックは緑の器となり、それぞれがまちを飾り、環境をわずかながら向上させていく。
それらが街角にあるところ、利用されているところを歩行者の目にとまることで宣伝の役割を果たす。

気づく

人が集まる場所に設置された「HEAT ISLAND SCALE」の存在が、「大阪の街がどれだけ環境に負荷を与えているのか」というメッセージを送る。
また、ヘドロブロックが減少することで、大阪の人々の環境に対する関心が分かると共に、人々が環境へ貢献しようとする意識が実感できる。

触れる

実際に自分でヘドロブロックを造ることや、自分で直にブロックに触れて使っていくことで環境に対する人々の意識の改善をはかっていく。

007_STORY



008_CASE STUDY

